

A L P S 処理水の海洋放出に係る関連産業の 状況調査結果について（8月25日現在）

1 調査の目的等

- (1) 目 的 海洋放出に係る道内の関連産業の状況を把握し、連絡会議において共有する
- (2) 対 象 各構成員が所管する産業団体等
- (3) 調査内容 既に生じている影響、今後懸念すること

2 調査結果概要（産業団体等からのコメント）

(1) 既に生じている影響

○中国等へ向けた輸出停止

- ・中国向け・香港向けの水産物の輸出が止まっている。 (貿易関係団体)
- ・カニ・サケなどの中国への輸出は全面ストップしている。 (食品関係団体)
- ・中国への商品(味噌・醤油)輸出を停止している事業者が出ている。 (〃)
- ・禁輸により取引先から商品を買取れない旨の連絡を受けた。 (事業者)

○取引価格の低下や買い控えの動き

- ・なまこの取引価格の低下やホタテの買い控えの動きが見られる。 (事業者)

(2) 今後懸念すること

○中国の水産物輸入全面停止による影響

- ・最大の輸出先である中国が輸入停止したことで、主要な輸出品目であるホタテガイが輸出できなくなり、国内に滞留することで産地価格の下落を懸念。
- ・8月24日以降現地に到着した荷物については、中国に通関できず、日本に戻されることになるため、混乱が予想される。
- ・東電の損害賠償が適切に行われるか。 (以上、漁業関係団体等)

○海外需要の低下

- ・風評被害の影響により海外需要が低下するのではないか。 (事業者)

○水産物以外への規制や風評被害、中国以外への規制の拡大

- ・輸出品目に関しては、海産物のみならず、国産の農産物に対しても風評被害が発生する懸念がある。 (農業関係団体)
- ・中国以外の国の取引先からも、海洋放出後の状況によっては取引を見直すなどの動きが見られる。 (食品関係団体)
- ・水産品以外にも規制が広がらないか心配。 (事業者)